

言語コミュニケーションA①		講義	非常勤講師 深谷 秀樹
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目	科目ナンバリング	21200107

1. 授業のねらい・概要

日本語を使ったコミュニケーション能力の向上をめざす。前期のAでは、特に文章表現と文章読解を中心に扱う。文章表現では、文章を書くための基本事項を習得したうえで、自分の意図を正確に伝える文章が書けるよう指導する。文章読解では、日本語能力試験N2～N1相当の長文を題材とする。

2. 授業の進め方

冒頭に漢字の問題演習（同訓異義語・同音異義語）をおこなう。続いて、各回のテーマに基づいて授業を進めていく。問題や課題に取り組む時間を多く設け、理解度を確認するため適宜指名して問題の解答や文章の音読をしてもらう。各回の授業内容は下記の授業計画によるが、学生の理解度や希望によって一部変更する場合もある。

3. 授業計画

1. オリエンテーション	9. 身の回りのことを書く
2. 自己紹介	10. 自分の意見を書く
3. 主語と述語	11. 文章読解—N2・論説文
4. 修飾語と被修飾語	12. 文章読解—N2・小説・随筆
5. 助詞の用法	13. 文章読解—N1・論説文
6. 基本事項の確認	14. 文章読解—N1・小説・随筆
7. 文章の構成法	15. まとめ
8. 短い文を書く	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・日本語の書籍や新聞・雑誌等を読み、わからない表現を辞書等で調べて書き留めておく（60分）。
- ・授業で配布したプリントの内容を読み返し、わからない部分があれば確認する（60分）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験終了後に出題意図や解答のポイントを解説する。

6. 授業における学修の到達目標

- ・同訓異義語や同音異義語の書き分けができる。
- ・自分の意図を正確に伝えるために必要な文章表現力を身につける。
- ・日本語能力試験N2～N1相当の長文が理解できる。

7. 成績評価の方法・基準

期末試験と漢字テストの点数（90％）に提出物と授業への参加状況（10％）を加味して評価する。

8. テキスト・参考文献

テキストは使用せず、プリントを配布する。参考文献は必要に応じて授業の中で紹介する。

9. 受講上の留意事項

- ・毎時間の学習の積み重ねを重視するので、欠席・遅刻をせず、真剣かつ積極的に取り組むこと。
- ・日本語の辞典を持参すること。電子辞書でもよい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無
該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連
上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。